

講座名	<b>【選択必修】英語教育における理論と実践</b>		
開講日	平成 28 年 8 月 6 日（予備日 8 月 7 日）		
時間数	6 時間	講座の形態	講義
受講予定者数	30 名	主な受講対象	全教諭
項目	英語教育		
講座の到達目標	英語の教授法や実践を、理論面から検討や考察するための素地を形成することを目標とする。		
講座の概要	歴史的に見ても重要な教授法や指導技術の基盤となる理論を紹介したあと、さらに、その理論を支えるメタファーも対象とすることで、教授法を深く掘り下げて検討する。また、第二言語ではなく外国語としての英語の教授や習得にも役立つような内容となるよう努める。		
講座の計画	時限	内容	
	1 時限	音声学的教授法、オーラル・メソッド、オーラル・アプローチ、認知学習理論、コミュニカティブ・アプローチなどに見られる理論的基盤を、英語学の理論に探る。	
	2 時限	ナチュラル・アプローチの提唱者であるクラッセンが主張する、言語の「自然習得」理論を支える理論的基盤を探る。	
	3 時限	リーディングを、①読者の受動的な行為と考える立場、②読者の主観的な行為と考える立場、③読者とテキストの双方向的な行為と考える立場について、それぞれが立脚する理論的基盤を探る。	
	4 時限	日本人が「外国語」を「学習」するための有効な方法について、私見もまじえながらまとめる。  試験（60 分程度）	
修了確認の方法	筆記試験の評価による		
成績評価の視点	講義内容を理解し、自分の文章でまとめているか。		
備考	1 時限は 90 分 テキストは使用しない。資料は適宜配布する。		
担当者	岡 良和(人間環境大学 人間環境学部 教授)		